

# ヘモグロビン A1 c 測定装置

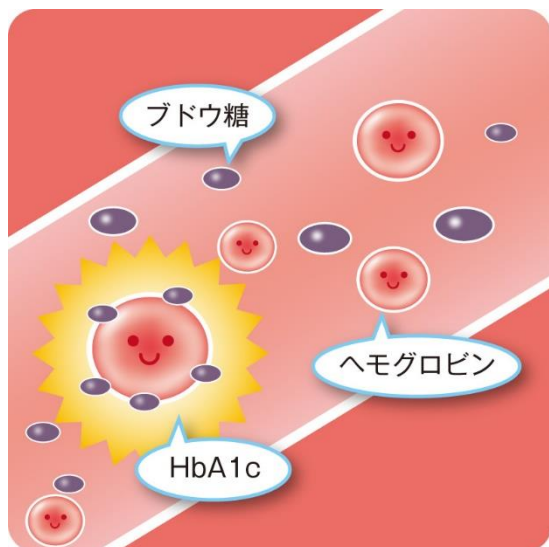


当院ではアークレイ社のグリコヘモグロビン分析装置「ザ ラボ 001」を使用しています。

この装置は1滴の血液で、ヘモグロビン A1 c の測定が可能で、しかも90秒という短い時間で結果が分かります。糖尿病のコントロールがその場でわかることで、的確な治療につながると考えています。

ヘモグロビン A1 c とは？

# ヘモグロビン A1c 測定装置



血液中の赤血球に含まれるヘモグロビン（Hb）は、酸素と結合して全身に酸素を送る役割をしています。ヘモグロビンは、血液中のブドウ糖とも結合する性質を持っていて、結合した一部分を HbA1c といいます。赤血球の寿命は 120 日位ですが、この間赤血球は体内をぐるぐる循環し、血液中のブドウ糖と少しずつ結合します。高血糖状態だと、ヘモグロビンとブドウ糖がたくさん結合して、HbA1c が多くなります。HbA1c は、採血したその日から過去 1～2 か月前の血糖の状態を示します。

糖尿病は食事・運動療法での生活習慣の改善、必要に応じて薬物療法で治療をしていきますが、治療コントロールの指標として HbA1c を使用しています。合併症予防のための目標値は HbA1c 7.0% 未満です。ただし年齢や全身状態また薬物療法の内容等で、治療目標値は個人個人変わります。

コントロール目標値			
目標	血糖正常化を目指す際の目標	合併症予防のための目標	治療強化が困難な際の目標
HbA1c(%)	6.0 未満	7.0 未満	8.0 未満

糖尿病で治療中の方は、主治医にご自身の治療目標値を確認してみましょう。そして現在の HbA1c は良好なコントロールなのか、もしくは少し改善する必要があるのかなど、ご自身の糖尿病の状態を理解し治療にあたりましょう。

# ヘモグロビン A1c 測定装置

高齢者の治療目標

患者の特徴・健康状態 <sup>注1)</sup>	カテゴリーI		カテゴリーII	カテゴリーIII	
		① 認知機能正常 かつ ② ADL自立		① 軽度認知障害～軽度認知症 または ② 手段的ADL低下, 基本的ADL自立	① 中等度以上の認知症 または ② 基本的ADL低下 または ③ 多くの併存疾患や機能障害
重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤, SU薬, グリニド薬など)の使用	なし <sup>注2)</sup>	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり <sup>注3)</sup>	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)	8.5%未満 (下限7.5%)

高齢者には特に低血糖が問題となるため、使用している薬剤と認知機能やADLに応じたヘモグロビンA1cの基準が示されています。